

大原小中学校 小中一貫構想図

学校教育目標

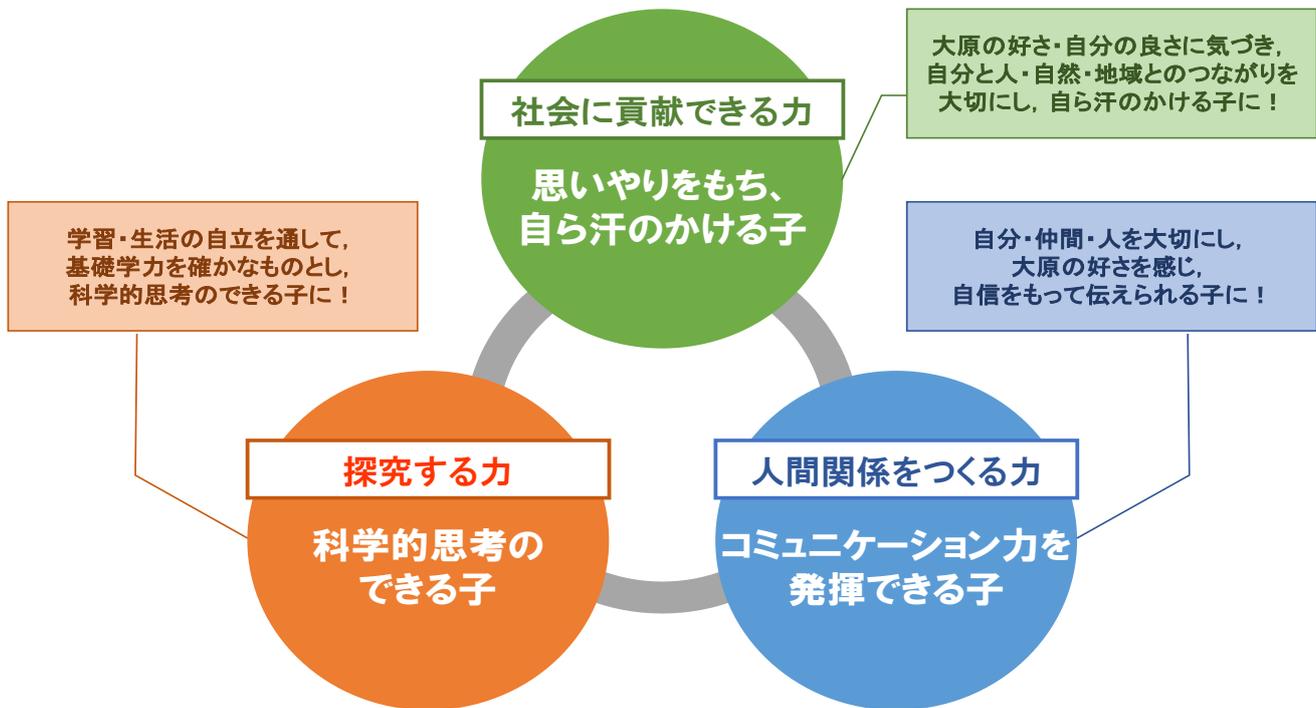
日本のふるさとから世界へ！

大原のゆとりある心を自信をもって伝えられる子に！

礼儀正しく人への思いやりを持てるなど、豊かな自然と深い歴史に育まれた大原の良さに気づき、自分に自信を持って、広い世界に発信できる子！

めざす子ども像

京都大原学院で育てたい学力と子ども像



○異年齢集団を生かした活動 縦割りグループによる掃除、大原大掃除、農園学習

○礼儀や規律を身につける 三千院長期宿泊学習・大人になる科

○地域に根ざし、たくましい大人に、そして地域の後継者となることをめざしたキャリア教育、朝市販売・紫葉漬作りなど

○なぜ？どうして？を大切に4年生からの理科T・T授業

○大原の豊かな自然を学び、環境保護を考える 高野川水質調査・水生生物調査・オオムラサキの保護活動

○個別学習により基礎学力を充実さし、科学的思考へ導く

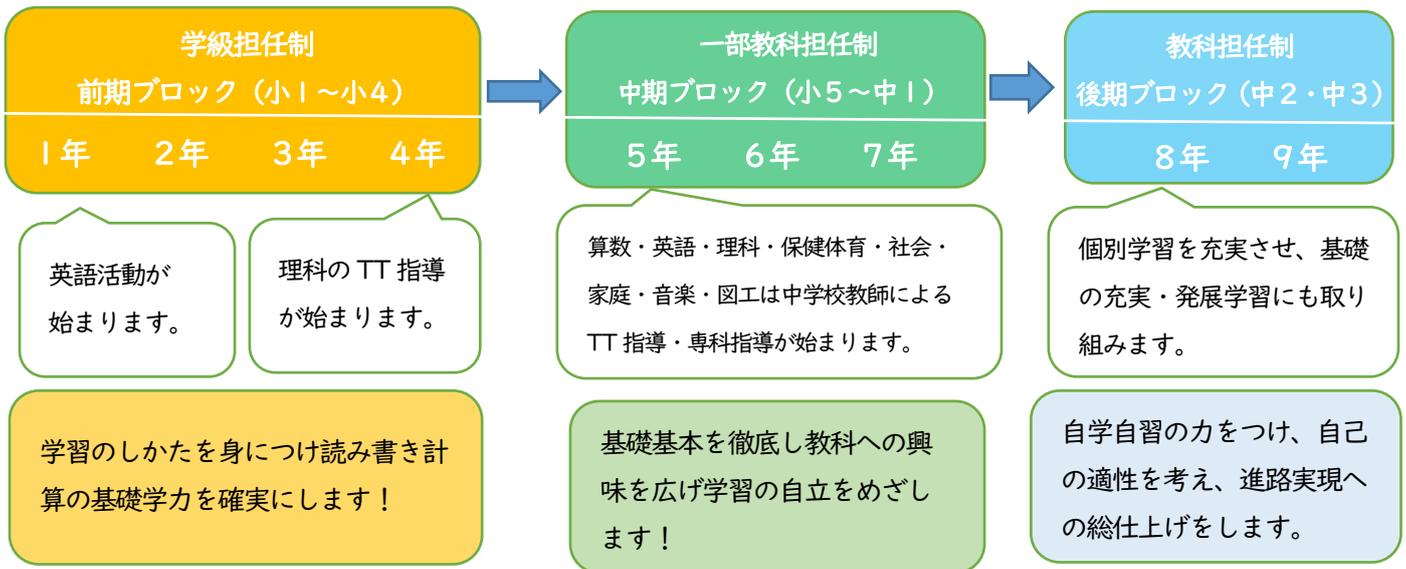
○自分で考え、人に正確に伝える言語力のアップ。1年生からの英語活動・1年生からの教えあい・学びあい 学習。すべての教科で培う表現力、キャリア教育集大成の大原提言

教育システム

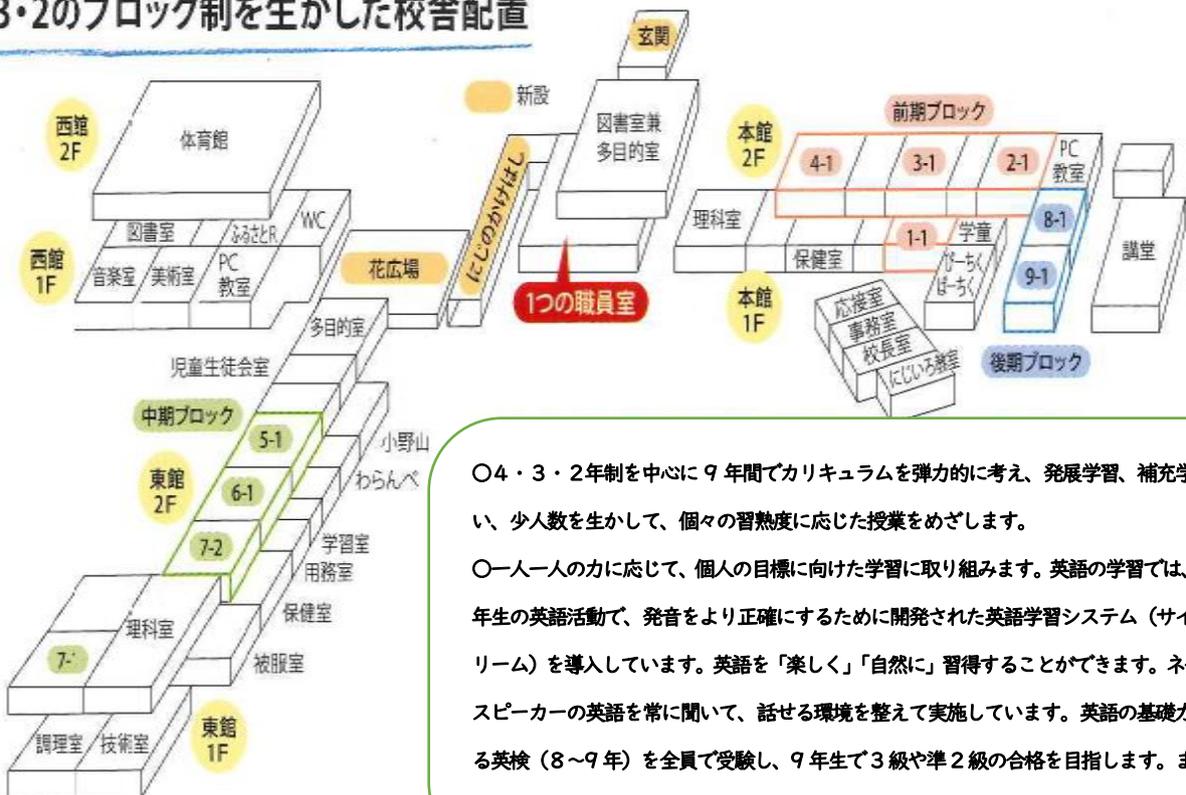
義務教育 9 年間の一貫性・継続性を大切にした

4・3・2 年制

- 発達段階に合わせて9年間で3ブロックに分け、ゆるやかな2つの段階をつくります
- 学習・生活の一貫性、継続性を大切に、10歳（4年生）、13歳（7年生）、での見極めをします。
- 4年生と7年生でブロックリーダーを育てます。
- 8年生・9年生で全体リーダーの自覚を促します。



4・3・2のブロック制を生かした校舎配置



- 4・3・2年制を中心に9年間でカリキュラムを弾力的に考え、発展学習、補充学習を行い、少人数を生かして、個々の習熟度に応じた授業をめざします。
- 一人一人の力に応じて、個人の目標に向けた学習に取り組みます。英語の学習では、1・2年生の英語活動で、発音をより正確にするために開発された英語学習システム（サイバードリーム）を導入しています。英語を「楽しく」「自然に」習得することができます。ネイティブスピーカーの英語を常に聞いて、話せる環境を整えて実施しています。英語の基礎力をつける英検（8～9年）を全員で受験し、9年生で3級や準2級の合格を目指します。また、漢字学習の一環として漢検を各学年で取り組んでいます。